

新刊紹介

|||||

医療・ケア従事者のための 哲学・倫理学・死生学

著 清水哲郎
発行 医学書院
定価 2860円(本体2600円+税10%)

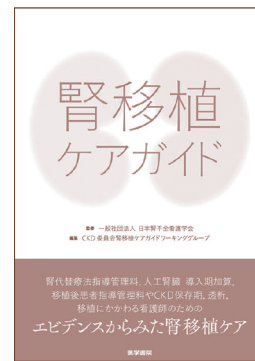
実践家や学生と対話を重ねてきた著者による医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学の入門書。医療・ケア従事者は、臨床では常に適切に状況を把握し、的確に実行する力が求められる。本書は、自らの実践の振り返りやケアする姿勢、専門的知識や個別状況を把握するあり方、そのブラッシュアップを支援する。



腎移植ケアガイド

監修 一般社団法人 日本腎不全看護学会
編集 CKD委員会腎移植ケアガイドワーキンググループ
発行 医学書院
定価 4400円(本体4000円+税10%)

日本腎不全看護学会監修のもと、腎移植、腎疾患看護の専門家や研究者によって編集された腎移植ケアのバイブル。腎移植の基礎的な医学知識や看護を説き、クリニカルクエスションにレビューを行い、エビデンスに基づく臨床での実践を解説した。腎移植、慢性腎臓病(CKD)の保存期、透析にかかわる医療者のための書。



認知症plus 地域共生社会

つながり支え合うまちづくりのために私たちができること

編 近藤尚己、五十嵐歩
発行 日本看護協会出版会
定価 2860円(本体2600円+税10%)

地域共生社会とは、制度や分野ごとの縦割り、支え手受け手の関係を超え、生きがいのある地域をともにつくる社会。その実現のために、私たちは何をめざし、何をすればよいのか。医療・介護・福祉などの専門職や当事者・家族などの取り組みを紹介し、地域共生社会につながる認知症ケアの仕組みづくりを解説する。



離婚の文化人類学

現代日本における〈親密な〉別れ方

著 アリソン・アレクシー
訳 濱野健
発行 みすず書房
定価 5280円(本体4800円+税10%)

アメリカの気鋭の人類学者が、21世紀初頭の日本でフィールドワークを行った。離婚をめぐる女と男の叙述に注目し、現代日本の離婚について人類学的な観点から考察。話を聞いた数多くの離婚という出来事と、その背景にある現代日本社会の複雑さを描き出し、日本における夫と妻の関係性を温かく鋭く解き明かす。

